

「神の子」 —先週の講壇より—

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」ヨハネ 1 : 12 【新改訳訳】

私は牧師になって 30 年以上が経ちますが、私の父もまた牧師でした。この父は 10 代の時、心と体を病み、5 年間も暗闇の中を過ごしました。その当時のことですから、入院しても治療はなく、祖母（父のにとっては母親）は必死の思いでお祓いをするようなところへ何か所も回ったそうです。しかし何の効果もなく、年月だけが過ぎて行ったある日、教会が隣家に引越して来たのです。正確に言えば、空き家だった隣の家で教会が開拓伝道を始めたということです。当時の薄いお互いの家の壁越しに聞こえる賛美が、寝たきりの父の心に染み入り、やがて牧師先生方との交流、そして家から一步出て教会に足を踏み入れることが出来るようになりました。こうして父は信仰を持ち、少しずつ少しずつ癒されていき、やがて献身し、牧師になっていきました。この父の姿を一番近くで見て来た祖母は、いつも口癖のように「おまえは本当にイエス様に拾われたね」と言っていたそうです。

神の子とされる、ということはどういうことなのでしょう。神様に対して自分が何かが出来たからとか、そういうことではなく、一方的な恵みによって神の子とされたお互いです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 12 月 22 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34 : 5

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

